

## IV 所見

今月のアンケートにおいて最も良い評価が得られたのは「体育授業時の制服整理」の項目である。26クラス中19クラスが「できている」と回答している。以前は、脱いだ体操服が、机の上、下関係なく散乱している状況をよく見かけたが、今はそのようなことはなくなった。このように改善されてきたのも、教科担当者、クラス担任の指導の成果だと思われる。ただ気になることもある。「A:大変よくできた」との回答を見てみると、第2学年は6クラスに対し、第3学年は0である。これは、他の項目においても似たような現象が起きている。3年生ともなると、評価基準がおのずと高くなり厳しい評価になることは十分に考えられる。いいことであるが、もしそうであったとしても最高学年として、その基準に合致するところまで気配りをしてもらいたい。

また、最も評価が低かった項目は「本校生としての自覚を持ち、品位ある言動に努める(校内・校外)」である。「校内」に関して26クラス中9クラスが、「校外」に関しては同じく10クラスが「できていない」と回答している。さらに、校内・外ともに「全くできていない」とする1年生のクラスもあった。校内においても、休み時間に荒っぽい言葉遣いをしている場面を見かけることがある。校内でこのような状況だと、校外であればおよその想像はつく。本校に入学してきた生徒には様々な事情がある。不本意ながら入学してきた生徒も多数いるはずである。そこからスイッチを切り替え、本校生としての自覚を持たせることは容易なことではない。担任が中心となり、学年で、全教員で厳しく、温かく指導生徒を見守り、指導を続けることで、生徒の意識を変えていくことが必要であろう。

